

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 豊中市立第二中学校
 種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()
 住所 〒560-0056

E-mail : t_dai2chu@city.toyonaka.city.osaka.jp

Website : _____

児童生徒数：男子 255 名 女子 226 名 合計 481 名
 児童・生徒の年齢 12 歳～ 15 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

平成 26 年度

① 東日本大震災・環境教育に関する取り組み

5月29日	・生徒会と PTA 役員との懇談会。フィフティフィフティの取り組みを継続し、エネルギー問題に取り組むこと、ウィークリーアクションプランに参加し世界的な運動に参加すること、気仙沼市立松岩中学校へ教員 2 名と生徒代表 2 名が訪問することなどが話し合われた。
7月7日	・豊中市国際教育研修会において他校の教職員に本校の取り組みを報告した。
8月24日	・生徒会、クラブ員、保護者、PTA、地域、教職員が学校の樹木の剪定や雑草を抜くなどの環境美化活動を全員協力で行った。
8月29日	・豊中市の全中学校生徒会が参加する中学生シンポジウムにおいて、本校生徒会が環境問題への取り組みや3か国子ども国際会議への参加などユネスコスクールの取り組みを発表した。
9月5日	1 限目に現在プロレスラーになっている本校卒業生から生き方指導をしていただいた。その時にプロレス団体として、老人ホームや障害者施設への慰問や近隣の清掃活動などを行っていることを教えてもらった。
9月8日から12日まで	生徒会からは次週に実施するウィークリーアクションプラン、電気の節約、水道水の節約などの取り組みの説明した ウィークリーアクションプラン実施。1 週間各クラスでエアコンなどの管理徹底、水道水の無駄遣いがないか点検活動を行った。
10月28日	1年ボランティア環境・福祉の講演会実施
10月下旬	生徒会役員が環境問題・ウィークリーアクションプランについての交流をインターネットを介してニュージーランドの学校などを行う
11月上旬	・1年生東日本大震災支援グループに対して、学校長より今までの取り組みや東日本大震災や気仙沼市立松岩中学校のことを説明した。
11月11日、12、13日	・1年生東日本大震災支援グループ約60名が豊中駅で義援金を集める
11月22日、23日、24日	・気仙沼市立松岩中学校校長が本校を訪問した。全校生徒に講演を行う
12月上旬	
12月11日、	・生徒会役員がウィークリーアクションプランの交流を行う

12日、13日	・気仙沼市立松岩中学校へ本校生徒2名および教職員2名が訪問し義援金を全校生徒の前で手渡す学校見学、市内見学を行い復興の様子や学校の様子を学ぶ。またインターネットを活用して本校生徒と松岩中学校の生徒が交流した
12月15日から19日まで	・ウィークリーアクションプランとして環境問題とくにエネルギー問題に取り組んだ
12月22日	・桜坂クリーン作戦
2月12日	・気仙沼市立松岩中学校を訪問した教職員2名、生徒2名が全校集会において訪問時のことを約30分間報告した

② 国際理解への取り組み

4月14日	・USA サンマテオ市との歓迎会に参加。フレンドシップ提携をしているシーサイドアカデミー校から3Dプリンターによる作品やコンピューターを活用した作品のプレゼントを受け取った。その作品は校長室前に飾って披露している。
5月15日	・豊中市ASPネット会議に出席
5月20日	・豊中市国際教育推進会議に出席
6月3日	・インド人生徒の母親から全校生徒に対して、インドの文化、自然、人々、宗教などインドのことを話してもらった
6月4日	・ニュージーランド、クライストチャーチのカウアポイボロウスクール校長とノースロバーン校長とインターネットで話を行った
6月18日	・インド保護者より生徒会役員がインドの学校の現状を2時間に渡って話してもらった。インドの学校への支援を生徒会として取り組むことが決定した
7月17日	・豊中市の姉妹都市のUSA サンマテオ市から親善大使を1日迎え入れた。大学生女性1名、高校生男性1名。授業参観、習字体験、クラブ見学、生徒会と伝統文化・昔遊び体験、お好み焼き・たこ焼きを一緒に作るなど交流を行った。
9月10日	・ニュージーランド クライストチャーチのカウアポイボロウスクール、ノースロバーン校の両校長と英語科教員が交流授業の打ち合わせをインターネットを介して行った
9月17日	・ニュージーランドカウアポイボロウスクール校長とインターネットを活用した授業の打ち合わせを英語科教員、市教委と行った
9月22日 同日	・英語の授業において1年生2クラスがニュージーランドカウアポイボロウスクールの生徒とインターネットを活用した交流授業を行う
9月30日	・9月17日と同様の取り組み・・・市教育委員会教育長も参観
10月2日	・生徒会役員がインド支援のNGO団体にインドの学校の状況を教えてもらう

10月8日	・生徒会役員がインドの小学校でボランティアをしていた学生からインドの学校状況を教えてもらう
10月21日	・生徒会役員が体育大会参観に来ていた保護者地域の方々から支援金を集める
10月23日	・生徒会が NGO 団体にインドの学校へ支援金・顕微鏡を手渡す
11月5日	・生徒会が NGO 団体に全校生徒の前でインドの学校に対する支援金を渡す。NGO 団体の代表からインドの学校の話をしていただく
11月8日	・ニュージーランドの中学生と生徒会役員が環境問題の取り組みについてインターネットを通して話し合う
12月4日	・桜井谷東小学校4年生に対して校長が国際教育について説明する
12月10日	・ユネスコスクール世界大会、(岡山で開催)において本校が分科会で実践発表を行い、パネル発表も行う。 ・生徒会役員がニュージーランドの中学生と環境問題について話し合う
1月8日	・車椅子バスケット日本代表選手より障害者理解、車いすバスケットについて、世界で活躍した経験から国際理解について話および実技披露をしていただく。
1月10日	始業式において韓国新月中学校のことを韓国人留学生よりインターネットを活用して説明してもらった
1月13日	・餅つき大会においてドイツ人留学生と一緒に文化交流を行った
1月31日	・韓国新月中学校生徒28名、教職員2名が来校した 授業参観、昼食を一緒に食べる、たこ焼きづくり体験、体育館にて全校生徒との交流会、日本韓国の昔遊び交流、部活動見学
2月4日	など多岐にわたる交流活動を行った
2月12日	・豊中市国際教育フォーラムへ参加。本校生徒会5名が英語で環境教育の取り組みなどを紹介した ・インドの学校支援として、不要になった顕微鏡19台を寄付した ・1年学年生徒が4か国の留学生を招き国際理解を深めた

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）